

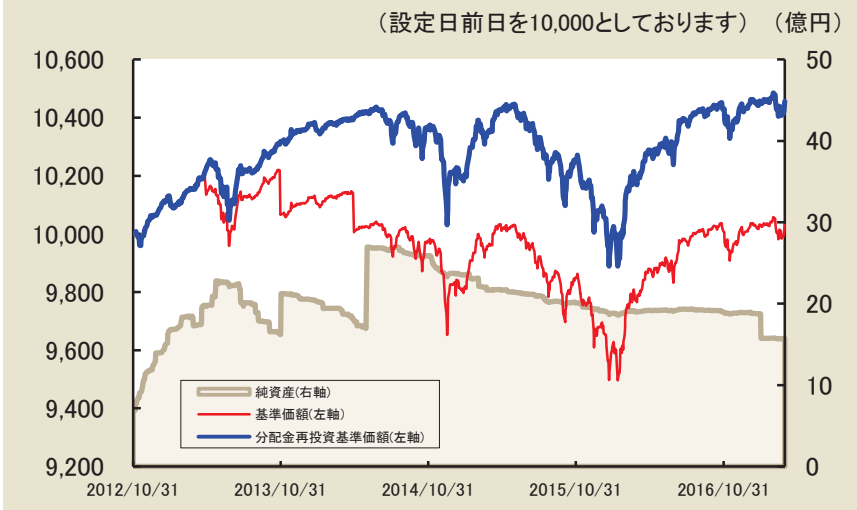


短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

設定日 2012年11月1日 決算日 原則 4月、10月の各30日

2017年3月31日現在

基準価額の推移(2012年11月1日~2017年3月31日)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	3月末	2月末
投資信託証券	97.1 %	97.0 %
その他資産	2.9 %	3.0 %
純資産	1,573 百万円	1,575 百万円

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配落後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

3月末	前月比	2月末
10,031 円	▲0.1 %	10,043 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

期間	騰落率
1ヵ月	▲0.1 %
3ヵ月	0.2 %
6ヵ月	0.2 %
1年	2.7 %
3年	0.7 %
5年	— %
設定来	4.6 %

分配金の推移 (1万口当たり、税引前)

2016年10月	10 円
2016年5月	0 円
2015年10月	0 円
2015年4月	20 円
2014年10月	0 円
2014年4月	140 円
設定来合計	420 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

このページは、ミュージック・アンド・カンパニー・インクが作成したデータを基に記載しております。

2017年3月31日現在

『ミュージック・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニット』の内容(2017年3月31日現在)

構成比率

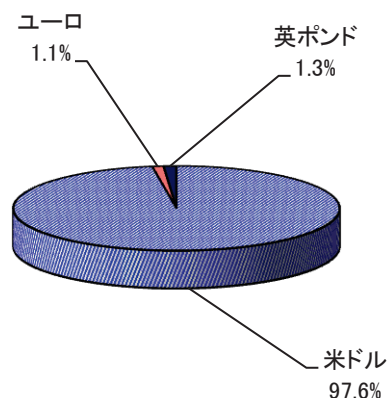
公社債組入比率	96.4%
キャッシュその他	3.6%

ポートフォリオの状況

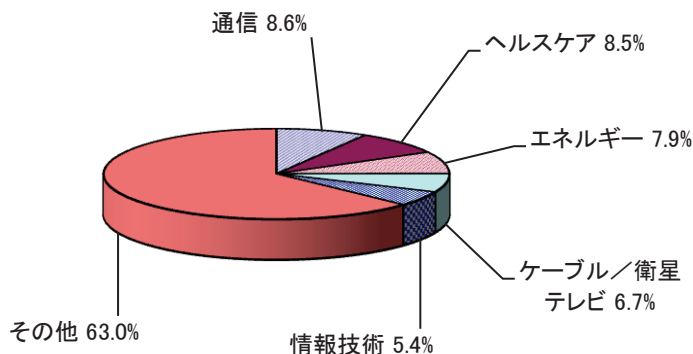
組入銘柄数	241
平均信用格付け	BB
平均最終利回り	4.06 (3.45 ^{※1})%
平均デュレーション ^{※2}	1.27年
平均残存期間	3.81年

- 平均最終利回りは、キャッシュを含めたものです。最終利回りは、投資対象資産の特性を理解していただくために表示しており、当ファンドへの投資で得られる「期待利回り」を示すものではありません。
- ※1 繰上償還条項を考慮した利回り
- ※2 繰上償還条項が付与されている銘柄は、直近の繰上償還予定日を使用して計算しています。

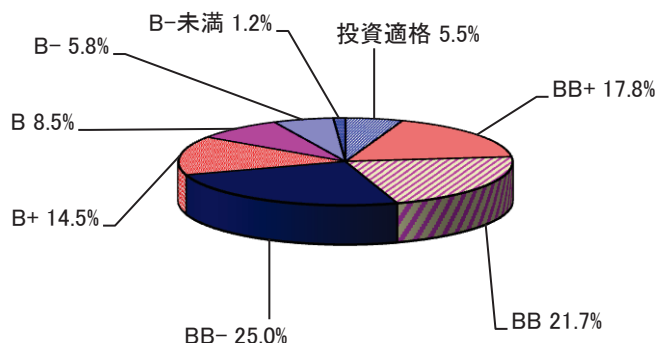
公社債の通貨別構成比率



公社債の業種別構成比率



公社債の信用格付け別構成比率



公社債の組入上位5銘柄

順位	銘柄名	クーポン	償還日	業種	構成比率
1	Reynolds Grp Iss/reynold	5.750%	2020/10/15	容器・梱包	1.39%
2	Cco Hldgs Llc/cap Corp	5.250%	2022/9/30	ケーブル/衛星テレビ	1.29%
3	Telecom Italia Spa	7.375%	2017/12/15	通信	1.27%
4	Sprint Communications	9.000%	2018/11/15	通信	1.16%
5	Dish Dbs Corp	4.250%	2018/4/1	ケーブル/衛星テレビ	1.15%

- ポートフォリオの状況は、組入公社債を100%として計算したものです。
- 業種は、ミュージック・アンド・カンパニー・インクの分類に基づいて記載しております。
- 平均信用格付けは、ミュージック・アンド・カンパニー・インクからの情報に基づいて記載しております。
- 平均信用格付けは、「ミュージック・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニット」および「短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり)」に係る信用格付けではありません。
- 信用格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ、フィッチの平均で、スタンダード・アンド・プアーズの方式で表示しています。
- 各公社債の構成比率はいずれも組入公社債を100%とした場合の比率です。比率は、各項目ごとに四捨五入しておりますので合計が100%とならない場合があります。
- 上記グラフおよび数値は、過去の実績を示したものであり、将来の動向や当ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

2017年3月31日現在

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニットの運用経過

ハイイールド債券市場は、3月上旬から中旬にかけては、過剰生産を背景に原油価格が下落したことや、FOMC(米国連邦公開市場委員会)の発表を前に取引が控えられ供給過剰感が出たことなどを背景に、下落基調が続きました。3月中旬には、堅調な経済指標を受けて、市場の予想どおり利上げが発表されましたが、オバマケアの修正案が米下院で通過できず、トランプ大統領の今後の政権運営に関する不透明感が高まりました。こうした状況のもと、米国内債の金利が低下傾向を示したことで、3月下旬にかけてハイイールド債券市場は緩やかに上昇し、ほぼ月初の水準にまで回復しました。

このような投資環境の下、「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニット」では、米ドル建てのハイイールド債券を中心に投資しました。当ファンドでは、信用リスクについては高めの格付けで期間の短い銘柄を指向しつつ、市場動向を考慮して投資先を選択しました。

今後の短期ハイイールド債券市場の見通しおよびミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニットの運用方針

米国では、景気回復が進み政策金利の引き上げなど、金融政策の正常化への道を少しずつ歩んでいます。欧州や日本では緩和的な金融政策は続いているものの、欧州で債券買入れのペースは緩みつつあることなどもあり、世界経済は緩やかながらも回復傾向を示しているといえます。こうした環境のなか、ハイイールド債券市場は今後も堅調に推移すると想定しています。「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジJPYインカムSユニット」では、金利変動や地政学的リスクなどにも配慮しつつ、引き続き米国のハイイールド債券を中心に投資を継続します。銘柄の選択に関しては、ボトムアップの調査分析を重視し、慎重な選別を行うことでリターンを追求する方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
- 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託は、元本の保証はありません。
- 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 当資料はアセットマネジメントOneが作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。



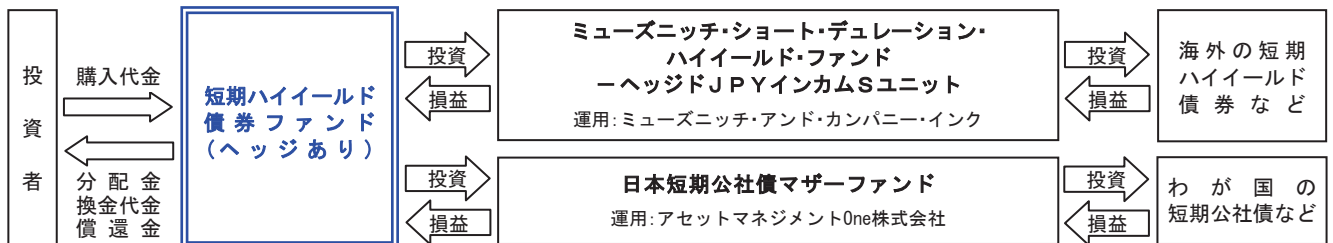
短期ハイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

当ファンドは、外国投資信託を通じて、主として外貨建てのハイールド債券に投資します。実質的に組み入れた債券の値動きや信用状況の変化、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 主として海外の短期高利回り社債(以下「短期ハイールド債券」といいます。)に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

- ◆アイルランド籍の外国投資信託「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイールド・ファンドーヘッジ」JPYインカムSユニット(以下「SDHY円ヘッジユニット」という場合があります。運用:ミューズニッチ・アンド・カンパニー・インク)と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」(運用:アセットマネジメントOne株式会社)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。



- ◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、SDHY円ヘッジユニットの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。
- ◆SDHY円ヘッジユニットは、主にBB/Bの格付けが付与されている社債に投資を行います。
- ◆SDHY円ヘッジユニットでは、原則として繰上償還条項を考慮した平均デュレーション[※]を2年以内とする運用を行います。
[※]デュレーション…金利変動に対する債券価格の変動性を示すもので、平均投資回収年限を表す指標です。

短期ハイールド債券

- ・一般に、ハイールド債券とは、格付けが非投資適格とされるBB格相当以下の社債を指します。BB格相当以上の投資適格債と比較し、デフォルト(債務不履行)する可能性が高く、信用リスクも高い傾向があり、その分、先進国債や投資適格社債への投資と比べ、相対的に高い利回りが期待できます。
- ・当ファンドでは、ハイールド債券の中でも残存期間が短い債券に実質的に投資することで、価格変動リスクやデフォルトリスクの低減を図ります。

2. 当ファンドは、投資対象とするSDHY円ヘッジユニットにおいて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

3. 原則として、年2回(毎年4月、10月の各月30日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

- ◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
- ◆分配金額は、投資信託証券からの分配金水準などを参考に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

- ◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◎投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

信用リスク	公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落し、時には無価値になることもあります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。特に当ファンドにおいては実質的な主要投資対象がハイイールド債券となることから、投資適格の債券に投資する場合と比較して、信用リスクが高くなります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。なお、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託では原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、円と投資対象通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。為替ヘッジを行うにあたり、円金利が当該通貨の金利より低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



短期ハイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/海外/債券
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。 お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日から起算して3営業日目の基準価額(当ファンドの基準価額は1万口当たりで表示)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日から起算して3営業日目の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込不可日	申込日当日またはその翌営業日以下に該当する場合には、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ・ダブリンの銀行の休業日
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2022年10月28日まで(2012年11月1日設定)
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、当ファンドが主要投資対象とするSDHY円ヘッジユニットが償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、当ファンドを繰上償還します。
決算日	毎年4月、10月の各月30日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称: NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称: ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日から起算して3営業日目の基準価額に、 2.16%(税抜2.0%) を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用 (信託報酬) 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して 年率1.6864%(税抜1.6%)程度 となります。 (上記は、SDHY円ヘッジユニットを100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。) ・当ファンド: 年率1.1664%(税抜1.08%) ・SDHY円ヘッジユニット: 年率0.52%程度 ・日本短期公社債マザーファンド: ありません。 SDHY円ヘッジユニットの信託報酬には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社、ならびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には最低支払額が設定されているものがあるため、資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。
	その他の費用・ 手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、SDHY円ヘッジユニットにおいても、有価証券などの売買手数料、監査報酬、弁護士費用、届出費用、保管費用および組成にかかる諸費用などが掛かります。なお、SDHY円ヘッジユニットの管理会社の裁量により、SDHY円ヘッジユニットの売却額に対して最大で1%の留保金が控除される場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認いただけます。

委託会社、その他の関係法人

■委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの運用の指図などを行います。

■受託会社: みずほ信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。

■販売会社: 募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。



短期ハイイールド債券ファンド(ヘッジあり) (愛称: ヴィンテージ)

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)